

教師不足の解消に向けた 各教育委員会における取組事例

教師不足への対応強化について

- 優れた教師人材を安定的に確保していくためには、教師を取り巻く環境整備を通じて学校現場を魅力的なものにすることが重要であるが、同時に、直面している教師不足に対応して、緊急・臨時的な教師需要に応えるために教師のなり手確保の取組を強化することが必要。
- 数年後には採用倍率が改善して、教師不足も解消に向かうだろうという楽観的な意見も耳にするが、子供たちは学校でこの一年の間にも成長し、進級・進学する。子供にとってはかけがいのない一年であり、きめ細かで質の高い教育を行うための十分な指導体制を整えるのは私たち大人の責任。未来を創るのは今の子供たちであり、その子供たちの今この時の教育環境が疎かになっている地域、ひいては国には明るい未来は見えこない。
- 教師人材の採用・配置は、教師の任命権者である教育委員会の権限と責任に基づいて行っていただくが、現在の教師不足の状況と対応強化の必要性に鑑みて、文部科学省では、教師の仕事の価値・やりがいの発信、新たな教師人材の発掘、入職前の研修などに使える補助予算を確保。既に、教職の魅力を発信するイベントや、現職でない免許保有者向けの研修などに取り組んでいる自治体もあり、そうした取組の拡大にも是非使っていただき、大学や経済界とも連携しつつ教師人材の確保の取組を強化いただきたい。
- このような取組によって、多様な人材の学校現場への獲得を進めることは、学校での学習を実際の社会課題と結び付けて、教科の壁を超えて探求的に学び進めていく、新しい時代に不可欠な教育を子供たちに提供するために必要な教職員体制を備えることにもなる。特別免許状の活用と併せて、民間企業等から任期付きでの学校現場派遣を実施することも考えられる。
- こうしたことを踏まえ、文部科学省として、各教育委員会が今後、教師不足の解消に向けて具体的にどのような見通しを持って、どのように取り組む計画なのか把握したいと考えている。

教師人材の確保強化

令和6年度予算額

5億円
(新規)



<教師不足の現状と構造的要因>

令和5年度補正予算額

5億円

- R3年度始業日時点での教師不足：2,558人（5月1日時点：2,065人）
R4年度採用選考の倍率：全校種の総計で3.7倍、小学校の採用倍率が2.5倍（過去最低）。
- 大量退職・大量採用等を背景とした、産育休取得教員の増加や、想定を上回る特別支援学級の増加に対応するための臨時講師の需要が拡大する一方、正規採用数の増加等により臨時講師の供給が減少 【公立小中の産育休取得者H24：15,067人⇒R4：23,540人 特別支援学級の数H24：47,643学級⇒R4：76,720学級】
- 新規学卒での採用選考受験者は横ばい（小）・減少（中高） 【新規学卒の受験者（小中高）H25：48,110人⇒R4：39,651】

◎大学における教員養成段階から地域の教育委員会と連携・協働
採用倍率に左右されず、「地域枠」を活用した質の高い教師を養成・確保

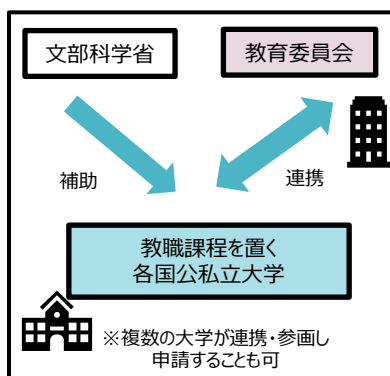
地域教員希望枠を活用した教員養成大学・学部の機能強化事業

令和6年度予算額 5億円

- 大学入学者選抜における「地域教員希望枠」を活用し、大学と教育委員会の連携・協働のもと、大学入学前から在学中・教員採用までの一貫した取組を促進し、地域や現場ニーズに対応した質の高い教師を継続的・安定的に養成・確保。

- ・件数・単価：単独事業 【上限】2,200万円（定額補助）【件数】15箇所
：複数大学連携事業 【上限】3,900万円（定額補助）【件数】3箇所
- ・補助期間：令和6年～令和10年（最長5年）、事業3年目に中間評価を実施
- ・対象：教職課程を置く各国公立大学 ※定額の上限は2年目以降通減

(補助イメージ)



大学・教育委員会が一体となって質の高い教師を養成・確保

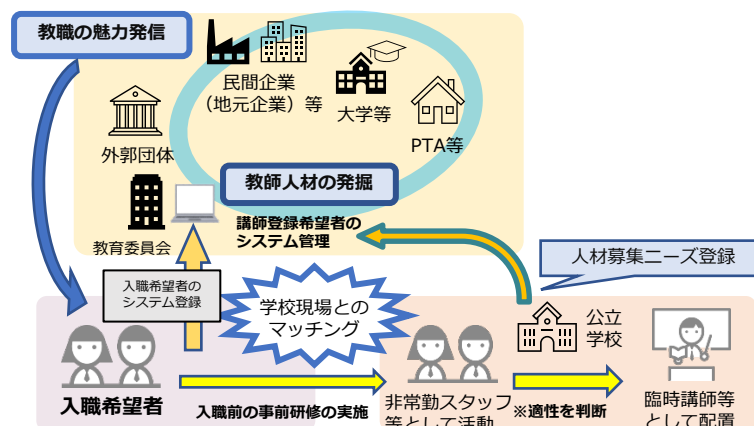
◎採用選考受験者や管理職等の伝手に止まらない、
新たな領域へ踏み出して教師のなり手を確保

大学・民間企業等と連携した教師人材の確保強化推進事業

令和5年度補正予算額 5億円

- 教師不足に対応するための連合体を教育委員会・大学・民間企業等で組織し、地域社会全体に教師の仕事の価値ややりがいを発信し、新たな外部人事を掘り起こすとともに、学校現場とのマッチング、入職支援等を実施する取組を推進。

- ・件数・単価等
マッチングシステム構築補助 【事業規模】2,000万円 【件数】24箇所 【補助率】1/3
広報発信・研修実施等事業費補助 【事業規模】1,710万円 【件数】47箇所 【補助率】1/3
合同成果報告等実施経費補助 【事業規模】850万円 【件数】3箇所 【補助率】定額
- ・対象：教師の任命権を持つ都道府県・指定都市教育委員会
人事協議会および公益財団法人などの外郭団体



外部人材の入職ルートを創出、多様な教職員集団の実現

各自治体の取組事例（現職以外の教員免許保有者向け研修等①）

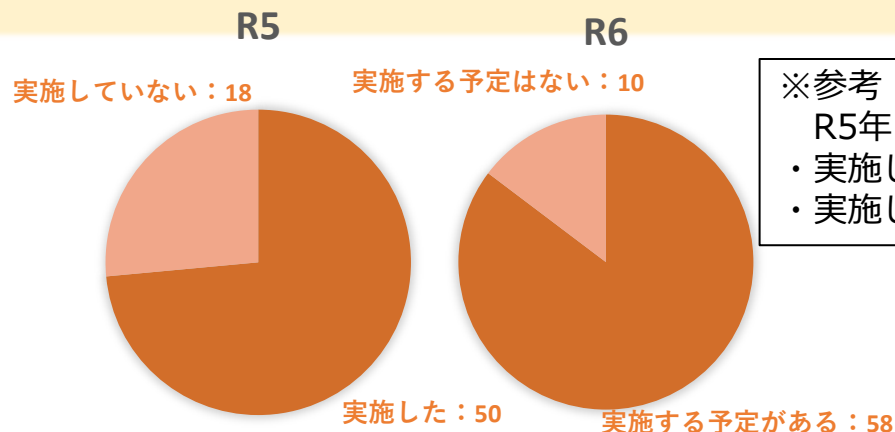
【全自治体の取組状況】

【R5年度の実施】

- ・実施した 50
- ・実施していない 18

【R6年度の実施予定】

- ・実施する予定あり 58
- ・実施する予定なし 10



※参考

R5年5月時点での実施状況

- ・実施している 32
- ・実施していない 36

【埼玉県】ペーパーティーチャーセミナー

- ・令和5年度は7回実施した。
- ・参加者226名うち臨時的任用教職員及び非常勤希望登録者数122名。
53名が令和6年度当初の任用につながった。
- ・令和6年2月3日には、特別支援学校及び特別支援学級担当を希望する者に対してセミナーを実施。
- ・令和6年度においては、文科省事業「大学・民間企業等と連携した教師人材の確保強化推進事業」等も活用し、教師の魅力発信及び人材の掘り起こしに力を入れることで、セミナーの参加者を拡大し、参加者を前年比約100人増の300名とする予定。



ペーパーティーチャーセミナー

教員免許はあるものの、全く教職経験のない方や
教職経験はあるものの様々な理由で教職を離れている方に
説明・相談会を行います。

<対象者>
教員普通免許状を有している方（有効期限超過により失効している方も含みます）で、さいたま市立を除く県内公立学校で勤務を希望する方

<申し込み>
下記QRコードからアクセスし、応募フォームに必要事項を入力してください。
https://docs.google.com/forms/d/18-NjgM5ShuqghuHfY_2zF0hYhgCa_M0uQW5Gwv1s1o95Pc4Njg/viewform?usp=at_link

第1回（大宮開催）
令和4年11月27日（日）
午後1時30分～午後5時
さいたま市民会館おおみや（RailBoc Hall）
6階第8集客室
【申し込み締め切り】11月21日（月）

第2回（川越開催）
令和4年12月3日（土）
午後1時30分～午後5時
埼玉県庁4階大会議室
【申し込み締め切り】11月28日（月）

第3回（浦和開催）
令和4年12月21日（水）
午後1時30分～午後5時
埼玉県庁3階 3C会議室 ほか
【申し込み締め切り】12月14日（水）

<内容>
・説明Ⅰ（35分）
教員として働いてみて（経験者談）
・説明Ⅱ（25分）
待遇・福利厚生について
～休憩～（15分）
・説明Ⅲ（30分）
最近の教育事情について
・相談・登録会
90分（相談等希望する方のみ）
※3回とも内容は同じです。

※教員免許の有効性など、免許状に関するお問い合わせは、下記をご覧ください。
<https://www.pref.saitama.lg.jp/02210/kyoin-monkyo/index.html>

埼玉県教育委員会 【問合せ先】教員免許の申請・更新課
TEL 048-830-6997

各自治体の取組事例（現職以外の教員免許保有者向け研修等②）

【大阪府】教員スタートアッププログラム

学校で勤務するにあたっての心構えや授業づくり、子ども・保護者との関わり方など、教員として働くためのエッセンスを学ぶプログラムを実施。

R4（全2回）：69名の参加、19名の任用。

R5（全2回）：151名の参加。



【福岡県】教員志願者向けパネルディスカッション ～TFJとの連携～

認定NPO法人Teach For Japan

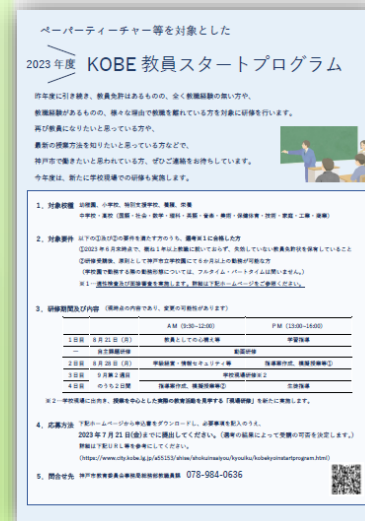
（TFJ）との共催で実施。

TFJの広報マネージャーをモデレーターとして招聘し、社会人経験者への期待や教職に就くために必要なことをトークテーマにオンライン開催。参加者40人のうち約93%が「非常に満足した」「満足した」と回答。



【神戸市】教員スタートプログラム

学習指導や現在の教育課題に関する知識・技能を習得したうえで、学校園で勤務していただくプログラムを実施。単なる講義だけではなく、学校園での勤務に役立つような実践的な研修・学校現場での研修を、5回にわたり実施。



各自治体の取組事例（広報・PR関係①）

【千葉県】民間企業と連携した広報

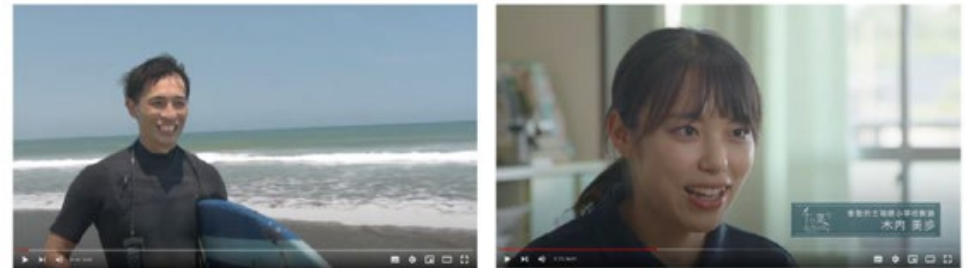
- ・ 教員採用プロモーション業務委託により、民間企業事業者のアイデアを生かした様々なPRを実施。マイナビ2025やマイナビ転職への掲載もしており、R6年4月22日時点で千葉県・千葉市公立学校教員採用情報サイトへの登録者数は、約4,275人。

(1) PR 動画4本 ①ダイジェスト(30秒) ②本編(6分41秒)

- (1) PR 動画4本
- (2) パンフレット（既卒者・大学生向け）
- (3) リーフレット（高校生向け）
- (4) ポスター2種類（高校生向け・大学生向け）
- (5) 出前講座用スライド2種類（高校生向け・大学生向け）
- (6) ランディングページ
- (7) タレントプールデータベース
- (8) マイナビ2025・マイナビ転職掲載



③テロップ付き ④音声のみ（ラジオ風）



(3) リーフレット（高校生向け）

(2) パンフレット（既卒者・大学生向け）



(4) ポスター 3部で1式×2種類（既卒者・大学生向け）



（高校生向け）



各自治体の取組事例（広報・PR関係②）

【大阪府】テレビドラマとのコラボによる広報

4月1日（月）午後9時にて放送された、
カンテレ・フジテレビ開局65周年特別ドラマ
「GTO REVIVAL」と連携し、
令和7年度大阪府公立学校教員採用選考テストの
広報活動を行った。

- ・ OsakaMetro主要14駅（※）、
249箇所へのデジタルサイネージ広告の掲載。
- ・ 大学等へのポスター、チラシの配布
- ・ 受験者説明会でも広報活動を実施。
- ・ 実施期間 令和6年3月25日（月）～31日（日）

※掲載駅：

新大阪、梅田、淀屋橋、
本町、なんば、天王寺、
なかもず、東梅田、
天満橋、谷町四丁目、
谷町九丁目、
肥後橋、北浜、日本橋

実際の掲載の様子→



カンテレ・フジテレビ開局65周年特別ドラマ

GTO REVIVAL

4.1 新 4.1 pm9:00

時代は変わっても、俺は変わらない

反町隆史

岡崎紗絵 小手神由 沢本新子 藤原 日向 鈴木浩介
池内博之 山崎裕太 藤澤洋介 徳山秀典 小堀 剛大

原作 藤沢 良太 (GTO) 脚本 藤沢 良太 監修 藤沢 良太
脚本 (山崎裕太 主演) 監修 藤沢 良太 監製 藤沢 良太 制作 藤沢 良太
URL: <https://www.pref.osaka.lg.jp/kyoshokuin/kyosai/>

8カンテレ

大阪府公立学校教員募集中！

出願期間：令和6年3月8日（金）～4月19日（金）
お問合せ：府民お問合せセンター「ビビッとライン」 06-6910-8001
URL: <https://www.pref.osaka.lg.jp/kyoshokuin/kyosai/>

大阪府 教員採用 検索

各自治体の取組事例（広報・PR関係③）

【鹿児島県】かごしまの先生スタートプログラムにおける講座受講支援・PRイベント開催

鹿児島県教育委員会が主催となり、

- (1) 鹿児島大学が行う履修証明プログラム「学校教育キャッチアップ講座」
- (2) 各教育事務所等による研修会
- (3) 個別相談会

へ参加ができるプログラムを実施（いずれも無料）。

【大学講座受講支援】

上記(1)キャッチアップ講座受講支援は、鹿児島大学の講座の受講料（6万円）を鹿児島県教委が全額負担で実施。
キャッチアップ講座受講支援のR5年度実績は、29人。
好評につきR6年度は35人まで募集人員を拡大して実施予定。

【イベント開催】

公共施設や大型商業施設でのイベント開催により、
教師の魅力発信・教員確保を実施。

令和5年7月22日（土）13:30～16:30

於 イオンモール鹿児島2階ブリッジ

対応等実績

- (1) チラシ配布 約300人
- (2) イベントエリア対応 約60人
- (3) ポスター展示エリア対応 約50人
- (4) 相談ブース対応 10人



各自治体の取組事例（学生等への支援）

【仙台市】教師を目指すことへの不安や悩みを解消する場 ※大学1～3年生を対象

教員を目指す大学1～3年生が、
今抱えている疑問や不安を現場の教員に直接質問し、
解決する場を用意。

参加者側が主体となって質問する形式。

R6は参加対象を高校生まで広げる。

参加教諭：校長、教頭、主幹教諭、教諭（合計8名）

参加者数：17名



【相模原市】さがみはらの学校で学ぼう！DAY、さがみはら大冒険

【さがみはらの学校で学ぼう！DAY】

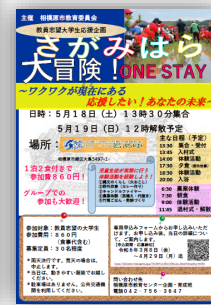
教員を目指す大学生に、二ーズに合わせた
学校参観等の機会をつくる

R4年度申込者27名、R5年度申込者59名

【さがみはら大冒険】

野外体験教室の周辺の自然や施設で、火起こしなど
児童生徒が実際に行う体験活動を経験。

R4年度申込者41名、R5年度申込者49名。

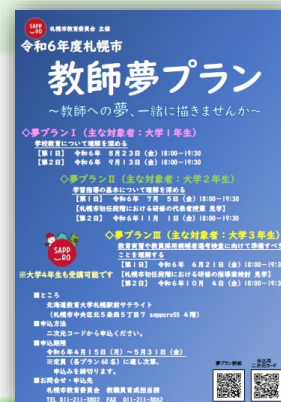


【札幌市】教師夢プランⅠ・Ⅱ・Ⅲ等

将来、教員を志し教職課程を履修する大学生（1年生～
3年生）を対象に、教職の魅力を発信するセミナーや
初任者研修の見学等を実施。

参加者はR3～R5の各回の平均で約50名程度。

また、高校生向けに「教師夢道場 debut」も実施
（参加人数実績50～100名）。



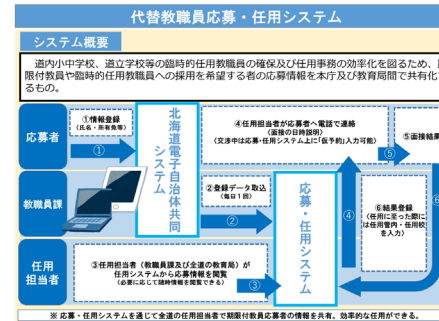
各自治体の取組事例（マッチングシステム）

【北海道】北海道教育庁代替教職員応募・任用システムを活用した期限付教員の任用

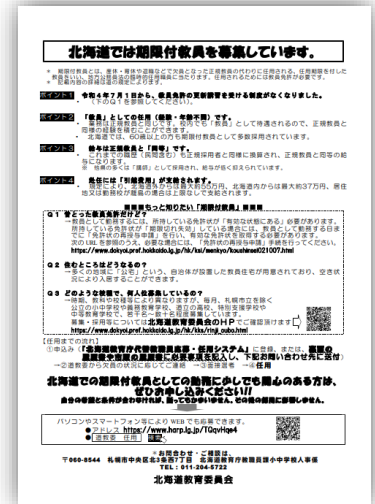
このシステムに登録された応募者情報は、各教育局や教職員課の任用担当者に共有されるほか応募者は、「履歴書を複数枚作成する」

「履歴書を希望管内ごとに郵送する」等の煩雑な手続が不要となる。

システムへの登録促進の取組は以下のとおり。



- ①ハローワーク・ホームページ等を活用した募集
- ②道内外の教員養成課程のある大学や校長会・退職校長会などの関係団体に対する人材紹介依頼
- ③各市町村の公共施設における募集チラシの配布
- ④期限付教員希望者向け（ペーパーティーチャー等）説明会の実施



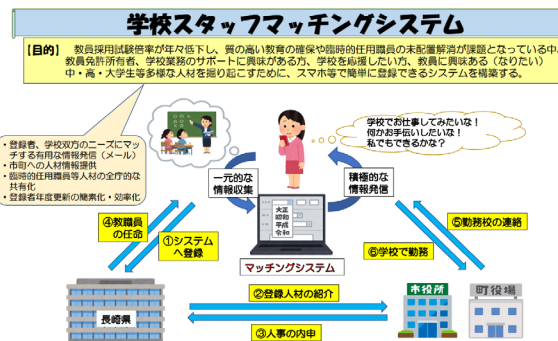
【長崎県】民間等と連携した「教職の魅力化作戦会議」、学校スタッフマッチングシステムの構築

【教職の魅力化作戦会議】

「学校の働きがい改革2023」の一環。金融機関や報道、PTA、市町教育長会、校長会など計12人の委員が発言し、県教委の施策に反映させる。

【学校スタッフマッチングシステムの構築】

多様な人材を掘り起こすために、
スマホ等で簡単に登録できるシステムを構築中。



参考資料

教師不足の現状と構造的要因

教師不足の状況

令和3年度始業日時点2, 558人（5月1日時点2, 065人） ※小学校・中学校・高等学校・特別支援学校

令和4年度当初の状況：3年度に比べ「改善」6、「同程度」22、「悪化」40 ※各都道府県・指定都市教育委員会回答数

令和5年度当初の状況：4年度に比べ「改善」11、「同程度」28、「悪化」29 ※各都道府県・指定都市教育委員会回答数

構造的要因

- 近年の大量退職に伴う大量採用により20-30代の教員が増加し、産休・育休取得教員が急増。特別な支援を要する児童生徒の増加により、予め学級数の見込みを立てにくい特別支援学級が増加。

※ 公立小中の産育休取得者 H24：15,067人 ⇒ R4：23,540人

※ 特別支援学級の数 H24：47,643学級 ⇒ R4：76,720学級（※小・中・義務教育学校）

※ 公立小中の臨時講師の数 H24：58,681人 ⇒ R4：68,159人（産休・育休代替教員、配偶者同行休業代替教員を含む。）

⇒ 臨時的任用教員（臨時講師）の需要が増加

- 臨時的任用教員は従来、教員採用選考に不合格となった者を多く任用していたが、採用枠の拡大等に伴い、既卒受験者の正規教員としての採用が進み、臨時的任用教員のなり手が不足。
- 新規学卒での教員採用選考受験者は小学校で横ばい、中高で減少。
 - ※ 新規学卒の受験者（小中高） H25：48,110人⇒R4：39,651

⇒ 臨時講師の供給不足

「教師不足」に対する文部科学省の取組について

1. 「教師不足」の定義・要因

定義：臨時的任用教員等の確保ができず、実際に学校に配置されている教師の数が、各都道府県・指定都市等の教育委員会において学校に配置することとしている教師の数（配当数）を満たしておらず欠員が生じること

要因：①産休・育休取得者数、特別支援学級数、病休者数の増加による臨時的任用教員の見込み以上の必要数の増加
②大量退職・大量採用に伴う採用倍率低下等による、講師名簿登載者の減少（臨時的任用職員のなり手の減少）

2. 短期的な対応策（教員免許保持者の入職促進）

- **休眠免許等保持者等の円滑な入職の促進**
 - ・教職員支援機構等において、教壇に立つにあたり必要となる基礎的内容をまとめた研修コンテンツを提供
 - ・各自治体において実施している休眠免許等保持者を対象とした講習会の実施例の周知促進
 - ・令和5年度補正予算において、全国のエデュコムが教師人材の確保のための広報発信や入職前研修を実施する際の補助予算を計上
- **産休・育休代替教師の安定的確保のための加配定数による支援**
 - ・年度の初期頃に産休・育休を取得することが見込まれる教師の代替者について、年度当初から任用する自治体の取組を支援

3. 長期的な対応策（免許取得者・教職志願者の増加）

- **教員採用選考試験の改善等**
 - ・採用選考の早期化や複数回実施など、国・任命権者・大学関係者等の関係者協議を設置し、令和5年5月31日に今後の教員採用選考試験の改善の方向性を提示
 - ・各教育委員会における特別な採用選考の拡充（採用選考合格後、最大2年間免許取得を猶予する選考等）
 - ・教育実習時期の見直しを含む教職課程の弾力化（早期からの学校現場での体験等）
 - ・特別免許状の活用等による、優れた知識経験等を有する多様な人材（理系人材、IT人材、アスリート、アーティスト等）の確保
- **教師のメンタルヘルス対策**
 - ・令和5年度予算において、各教育委員会が専門家等と協力しながら、病気休職の原因分析や復職支援を含むメンタルヘルス対策等に関するモデル事業を実施中であり、令和6年度予算案においても同事業を計上
- **教師を取り巻く環境整備**
 - ・骨太方針2023等を踏まえ、学校における働き方改革の更なる加速化、処遇改善、学校の指導・運営体制の充実、教師の育成支援を一体的に推進。令和6年度予算案においては、小学校高学年教科担任制の強化のための定数改善や、全ての小・中学校への教員業務支援員の配置をはじめとする支援スタッフの充実等に必要な経費を計上
- **各教育委員会における正規教員の比率向上**
 - ・各教育委員会における計画的な正規教員および教員採用計画の中で、全国の状況を参照しつつ、目標とする正規教員の割合等を設定し採用することを文部科学省から促進
- **教職に関する情報発信**
 - ・令和4年12月の中央教育審議会答申も踏まえ、教職に関する情報を、高校生や大学生、社会人等へ広く発信し、教職への理解を深めるとともに、教職志望者の増加を図るため、教育人材に係る全国各地の情報を一覧できる機能を備えた「教育人材総合支援ポータルサイト」を文部科学省HPに開設し、広く関係者へ活用を促進